

川越ロータリークラブ 会報 No.19



2024年11月12日 第3502回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：101名 免除出席者：2名 正会員出席者：52名 出席者：54名 早退：1名 出席率：53.47%

プログラム

点鐘 (12:30) / ロータリーソング (第2例会：我々の生業・R・O・T・A・R・Y) / ビジター・お客様紹介 / 卓話講師紹介 / 会長の時間 / 幹事報告 / 委員長報告 / ニコニコボックス / 出席報告 / 卓話 / 点鐘 (13:30) (司会：八木SAA)

《ビジター・お客様紹介》なし

《卓話講師紹介》島村会員 地区ロータリー財団委員会奨学学友平和フェロー委員会副委員長

会長の時間



2024-25年度 会長 西川 孝博

11月23、24日に地区大会が開催されます。一般会員は24日の地区大会への参加となります。地区大会のプログラムは以下の通り

式典 第1部

- ・国際ロータリー会長代理の訪問
- ・地区に関する報告
- ・地区案件の討議と投票

第2部

- ・講演 (尾身茂先生記念講演「ポリオ根絶 これまで これから」)
- ・クラブ活動報告と情報交換
- ・次回地区大会の紹介

地区大会での決議議案は以下の10項目

1. 国際ロータリー会長のテーマを推進する件
2. 国際ロータリー会長に対し会長代理ご夫妻派遣に感謝する件
3. 国際ロータリー会長代理神野重行氏に感謝する件

4. 直前ガバナー高丹秀篤氏並びに地区幹事田島高久氏に感謝する件
 5. 地区大会記念事業の件
 - ①埼玉県に支援のための金一封贈呈
 - ②行田市に支援のための金一封贈呈
 6. 地区大会ホストクラブに感謝する件
 7. 2028-2029年度地区ガバナー選出の件
 8. 2025-2026年度地区指名委員会委員選出、並びに指名委員職務権限決議の件
 - *川越 RC 相原会員ほか4名の委員の選出
 9. 国際大会への参加推進に協力をする件
 - *カルガリー開催の国際大会への参加推奨
 10. 2023-2024年度地区監査報告の件
 - *年度収支が適正な判断か質疑
- 以上が地区大会の概要となります、ぜひ大勢の方の出席をお願いいたします。

幹事報告



2024-25年度 幹事 齊藤 智

- ・配布物：会報、ロータリーの友、同要約版、バギオだより
- ・連絡：所沢東 RC 事務局移転
- ・案内：ロータリーリーダーシップ研修会 (RLI) パート2が12

月21日(土)開催

- ・回覧物：地区大会出欠 (バス利用) 表、能登半島豪雨災害支援金募集 (千円単位)、バギオ基金維持後援者募集

委員長報告

- ・広報委員会 (高山委員)



ロータリーの友要約版

11月はロータリー財団月間

・次週卓話案内 石井会員より、川越税務署長菅原様による卓話
「さけとTシャツと私」



ニコニコボックス

●卓話担当は、ロータリー財団委員会です。卓話講師、地区ロータリー財団委員会・奨学学友・平和フェロー委員会副委員長島村拓史会員、本日は宜しくお願い致します。〈会長、幹事〉

●本日の卓話担当はロータリー財団委員会です。地区役員奨学学友・平和フェロー委員会副委員長島村拓史様、よろしくお願い致します。〈福岡〉

●本日は卓話宜しくお願い致します！！〈島村〉

●島村さん卓話楽しみにしています。〈八木、近藤、小橋、和田（尚）、神谷、小杉、西澤、栗林、古尾谷、片山、小川、坂口、相原、和田（喜）、岩堀、野溝、水村、戸口、馬場（弘）、馬場（常）、石井、久保田、小高、中野（文）、高山、蓼沼、住谷、栗原、廣瀬、佐藤、山崎（共）、金剛〉

●小杉会員傘寿おめでとうございます。益々のご活躍をお祈りいたします。〈福岡〉

●本日80歳の誕生日を迎える事が出来ました。30ならぬ傘寿になってしまいました。これからは（宜しく）年寄りの面倒を宜しくお願い致します。〈小杉〉

●過日は、誕生祝いのワインを送って下さり有難うございました。女房と一緒に美味しくいただいています。

〈川合（名誉会員）〉

●早退1名（敬称略）

合計45,000円



卓話

○卓話講師：島村拓史氏（地区ロータリー財団委員会奨学学友平和フェロー委員会副委員長）

演題：ロータリー財団月間について

◆国際ロータリーアーチック会長は、ロータリーの最大の強みの一つは会員が一体となって末

永く続く変化を生み出すこと、ロータリー財団は変化という夢を私たちが現実にするのを支えている。この機会にぜひ財団についてよりよく知っていただいて関心のある活動を追及してほしいとメッセージを送られています。

◆ロータリー財団の行いは、ロータリーの使命
ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーとのネットワークを通じて、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することを実行することだけを目的に行っている。（アーチ・C・クラフ氏）

◆ロータリー財団の目的

1. ポリオプラス

ポリオ根絶の支援

2. ロータリー

平和フェローシップ

平和および紛争解決分

野におけるリーダー育成支援

3. 補助金

ロータリアンの奉仕活動の際の補助金

◆財団への想いと取り組み

2570地区では、日本スリーデーマーチに地区ポリオデーとして参加。200名を超えるエントリー。東松山第一小学校から森林公園への往復10km歩き、成功に終わった。

◆ポリオに関する事実

- ・ポリオに最も感染しやすいのは5歳未満の子供（汚染水が原因となることが多い）
- ・治療はないが、ワクチンで予防が可能
- ・野生型ポリオウィルスの常在国はわずか2か国（アフガニスタン、パキスタン）
- ・1988年以来、発症数は99.9%減少
- ・ポリオを永久になくさない限り、感染リスクは全世界の子供にある。このままだと10年後には10万人以上の感染者がでるといわれている。

積極的な支援が必要

◆寄付・財団の運用

- ・年次基金・恒久基金寄付・用途を指定した寄付があり独自のシェアシステムにより財団活動資金にあてられている。
- ・財団管理委員会で運用され寄付が無駄なく活用されるように監督されている。

以上を理解いただき、ぜひ皆さまからの寄付をお願いします。

